

ひゃくちゃん通信

第3号
平成25年 長月

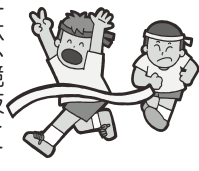
〒421-1216
東海フーズ株式会社
静岡市葵区羽鳥大門町7番2号
054-277-1667(代)

おーい、秋です

ついでに秋になりました。9月に入っても暑い日が続きますが、お元気でですか？

秋が、かけ足で近づいているような気がします。秋になると、各地で運動会が行なわれます。

お日様の光を浴びながら、精一杯、競技をする姿は、さすがに感心され、思わず「ガンバレー!!」と応援したくなります。何事も精一杯がんばる姿は、良いものですね。



最近のひゃくちゃんの様子

9月になると、私たちは毎年、年末にご活用頂いております「干支あめ」や新商品の準備で忙しい日々を送っています。この時期は、12月まで仕事を手伝ってくれる新しいスタッフも入ってきます。見慣れない顔に「ひゃくは、「だれ?」って顔でいつもゾーと見えています。



今年も皆様に喜んで頂ける商品をご用意させて頂きました。これから年末にかけての

販売、よろしくお願ひいたします。ニヤン! 季節商品のご予約を(干支あめなど)承っております。予約のめくりがございまして、早めのご注文お待ちしております。

朝8時すぎ

朝8時すぎの頃「カチャカチャッ」と玄関の鍵が開けられる音でボクは目覚める。「ひゃくちゃん おはよー!」「ひゃくおはよー!」

次から次へと社員さん達が出社して来る。それにまぎって例のおじさんもやってくる。おじさんは来るたびにボクのトイレをそうじして、朝ごはんとお水の入ったお皿をもって来てくれる。「宿直してくろさまー!」目の前に2つのお皿が置かれる。「にゃ〜(いただきまーす!)朝から食欲全開!当り前だがボクはごはんが大好きだ、あつという間にたいらげる。そして食事も済んで顔を洗いながらしみじみと思った。やっぱり猫に小判は必要無い、必要なのは「猫にゴハン」だ。これも後で知った事だが、このいろいろお世話をしてくれるおじさんが東海フーズの社長さんらしい。何とも恐れ多い話だ...

朝9時、メンバー全員がそろったところで朝礼が始まる。皆にあわせてボクも「誓いの言葉」を唱和する。

「私達は、お客様に販売頂く商品は、感謝の気持ちを込めて大切にします。」

そして朝礼が終わり、ボクは会社周辺に異常が無い点検の為、外回りに出かけます。一歩二歩三歩、玄関を出て駐車場までくるといい具合におひさまの光がふりそそいでいる。何とも魅力的だ。外回りの時間だが少しだけ日光浴をする事に。広い駐車場のアスファルトの上で日光を浴びながら「ゴロン」とあお向けになつて大き〜のびをする。

「にゃ〜(気持ちいい) あんまりにも気持ちいいので少し寝ること...。うたる様な暑さにハツとして目覚めるとすてにお昼!...とりあえず社内にもどる。

この時間になると隣の建物(ここでお客様のご注文品の出荷をしているが、ボクが入れてもらえない場所だ。)から出荷担当の皆さんがお弁当をもってやって来ます。どんな人達かって? 皆さん、育児や家事とここでの仕事を両立する

頑張り屋さん達です。出荷担当のパートさん達は皆さんべっぴんさんぞろい。芸能人だとえるなら天日干したピンクレディーのミーちゃんとか。ケーちゃんや坂本冬美と藤あやこをお茶で煮込んだ雰囲気の方など...。ちなみに皆さんに年齢をうかがったところ、口を揃えて「永遠の23才くらい」と即座に答えが返って来ました。

こんな出荷の皆さんからのメッセージです。「いつも私達に対してお電話やFA Xで

応援やほげまじ、お礼のお言葉頂き、本当に感謝しております。たまに失敗とかも有りますが一つ一つ心を込めて荷作り致しますのでこれからも宜しくお願い致します。」との

事です。ボクも負けずに頑張りたいたいと思います。何だかんだと言いながら、ボクもずい分ここでの暮らしに馴染んだものだなあ〜と思つた。

最初の頃、一番やかいたったのがお客様からの電話だ。電話で御注文を頂くたびに事務員さん達が「百草水ですね?」「百草水ですね?」とお客様と話すので、ボクは反応しておやつでもくれるのかな?とベットと事務所を行ったり来たりで大変でした。

その後、理由も分かってそれだけボクの名前の由来でも有る「百草水」をたくさんのお客様から御注文頂いているという事なので、今では逆に電話が鳴るたびに耳をすませて「ボクの名前が呼ばれかな?」と楽しみにしています。

でも冷静に考えてみるとそんなのん気な事ばかり言つてられない自分に気付く...。ボクは「招き猫」として採用されたのだ。ボクが来たとなんに百草水が売れなくなつたなんて言われたら大変なので皆様、何卒「百草水」を宜しくお願いします。ちなみに売れる為のポイントは、とにかくその場で飲んで頂く事につきます。

で飲んで頂く事につきます。そうやって、百草水が売れて売れて忙しすぎてボクに手伝って欲しいと言われる、まさに「猫の手も借り

たい様になってもらうのがボクの目標です。

つづく...

